

# 仕事のくふう、見つけたよ

授業者 松下裕幸

## 1 教材の特徴

### 学習内容の背景

文部科学省(2016)中央教育審議会教育課程部会国語ワーキンググループにおける審議の取りまとめについて(報告)

国立教育政策研究所(2007)特定の課題に関する調査(国語)調査結果(小学校・中学校)

### 本単元の目的

Hidi & Boscolo(2006) Motivation and Writing

Hidi & McLaren(1991) Motivational Factors and Writing: The Role of Topic Interestingness

Renninger & Hidi(2002) Student Interest and Achievement: Developmental Issues Raised by a Case Study

Hayes(1996) A New Framework for Understanding Cognition and Affect in Writing

Hayes(1996) A New Framework for Understanding Cognition and Affect in Writing

崎濱(2003)書き手のメタ認知的知識やメタ認知的活動が産出文章に及ぼす影響について

古閑(2011)言語活動が成り立つ学習指導過程のデザイン: 調査報告文作成における思考表現階層化の過程の可視化

文部科学省(2016)は、高度情報化の影響による文体の変化に触れながら、相手を想像しながら、媒体の特徴を考慮して書くことの重要性について指摘しています。さらに、学校教育においては、整った文章を書く学習や文章を「書くこと」の学習過程に沿って深く考えて書くことが重要であることを指摘しています。国立教育政策研究所(2007)は、無作為に抽出した全国の国公私立の小学4年から中学3年の児童生徒19199名を対象に、長文記述に関する調査を行いました。その結果、自分の考えが明確になるように段落を構成し、相互関係を考慮して書くことについては全体的に通過率が低くなっていることを示しました。このように、高度情報化する社会をよりよく生きるためには、学校教育において、文章産出スキルの育成を図ることが強く求められています。一方で、段落を構成し、相互関係を考慮して書くなどの文章産出の困難さが指摘されています。

Hidi and Boscolo(2006)は、忍耐強く文章産出に取り組むためには、文章産出に対する動機づけが不可欠であることを指摘しています。また、Hidi and McLaren(1991)は、動機づけは、興味のあるテーマだけではなく、話題に関する知識が向上させることを指摘しています。また、Renninger and Hidi(2002)は、テーマに関する知識が動機づけを向上させることを指摘しています。これらのことから、本研究においては、話題とテーマに関する知識を十分に獲得させることが児童の動機づけを高め、粘り強い文章産出につながると考えました。

Hayes(1996)は、課題の環境と個人的な要因から構成される文章産出プロセス「個人一環境モデル」を提案しています。このモデルによると、「文章は、長期記憶から検索された話題に関する知識や課題のスキーマ等が認知過程で解釈・省察され、産出され」ます。長期記憶の話題に関する知識の量が文章産出に影響を及ぼすと考えられるため、文章産出前に話題に関する知識を十分に獲得させる必要があります。そのため、本研究における話題に関する知識(図1)を「売り上げを高めるための工夫」として整理し、社会科において、「売り上げを高めるための工夫」を十分に捉えさえ、動機づけを高めたいと考えました。

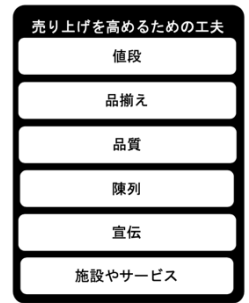


図1 話題やテーマに関する知識

崎濱(2003)は、大学生と専門学校生を対象として、情報伝達文の文章産出の活動に対するメタ認知的知識の構造を検討した結果、「伝わりやすさ」などの因子を見出しました。また、熟達群の被験者は非熟達群に比べ、「伝わりやすさ」の因子を重視していることや非熟達者に対しては、熟達者ほどはメタ認知的知識を重視しておらず、メタ認知的活動の中でもそれらをあまり活かしていないことを指摘しています。崎濱(2003)は文章表現教育を行うにあたり、書き手自身に「伝わりやすさ」に関するメタ認知的知識を重視させるだけでなく、「伝わりやすさ」のメタ認知的活動を効果的に行えるようなトレーニングを課す必要があることを示唆しています。

そこで、本研究においては、「伝わりやすさ」の要素を明確にし、「伝わりやすさ」のメタ認知的活動を効果的に行うための支援について検討する。子供の発達の段階と本研究で扱う文章の特徴を踏まえると、「伝わりやすさ」の要素は図2のとおり整理できると考えられます。「伝わりやすさ」の要素には、修辭的な側面と構造的な側面、内容的な側面の3つがあると考えられます。3つの側面は、発達とともに、それぞれの要素が相互に関連しながら「伝わりやすさ」を形成していくと考えられます。



図2 調査報告文の「伝わりやすさ」の要素

### 中心となる概念

古閑(2011)は、調査報告文には、目的による情報の分類とまとめ直しが必要であると、段落の相互関係には、因果関係(原因と結果)や包含(抽象・具体)、累加等があることを指摘しています。調査報告文については、表現意図と事例との包含(抽象・具体)が重要であり、特に「始め」が「中」を包含するように段落を構成させる必要があると考えられます。また、「中」は累加関係が重要であり、段落を並列させる必要があると考えられます。そこで、本研究においては、包含関係を「はじめとぴったりな中」、「中1と中2はなかま」として、簡単な言葉で方略についての知識を獲得させる必要があります。また、それには、表現意図を明確にしておくことに留意する必要があると考えました。本研究では、文章を構成したり記述したり推敲したりする際に、「段落相互の関係、特に、「表現意図と事例の包含関係」「事例と事例との累加関係」についての見方・考え方を働かせます。「表現意図と事例との関係」とは、伝えたいことに応じて調べたことを選択して、配置することです。「事例と事例との累加関係」とは、調べたことと調べたことを並列に加えていくことです。それらによってそれによって書く内容の中心が明確になると考えられます。

### 本単元で鍛える見方・考え方

自分の思いや考えを深めるために、段落相互の関係、「表現意図と事例の包含関係」「事例と事例との累加関係」に着目して捉え、問い直して意味付ける。

## 2 目指す子供の姿

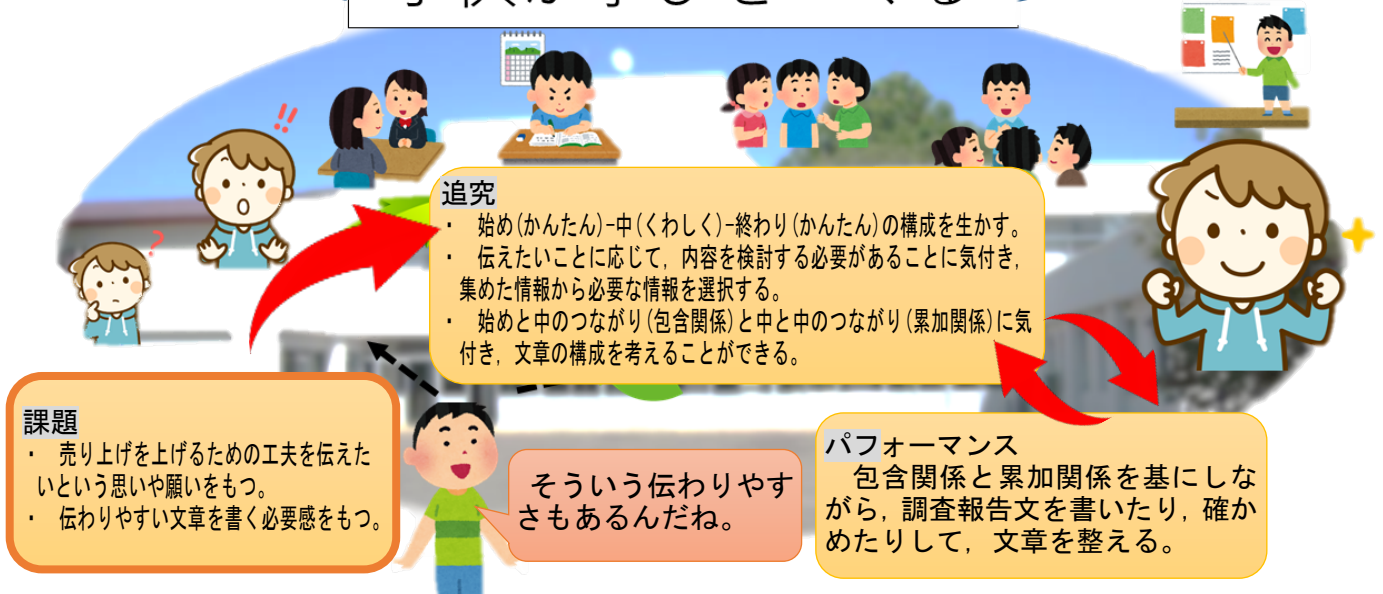
	課題設定	課題追究	パフォーマンス
国語科「書くこと」が 目指す学びをつくる 子供のゴールの姿	表現の意図を明確にするとともに、目的や意図、相手に応じながら、題材を設定することができる。また、表現の意図を具体化することができるとともに、題材を修正することができる。	目的や意図に応じた情報を集めるとともに、目的や意図、相手等に応じて、集めた情報を整理し、表現の意図に応じた内容を検討することができる。また、表現の意図に応じて、一貫性のある構成を検討することができる。さらに、文章の特徴に応じながら、集めた情報を整理する方法を考えることができる。加えて、情報の整理を振り返って、再整理したり、再構成したりすることができる。	表現の意図や文章の様式に応じて、表現を工夫したり、推敲したりすることができる。また、読み手の考えに基づき、必要に応じながら書いた文章を修正することができる。 読み手の考えに基づき、必要に応じながら、修正点を次の文章に生かそうとすることができる。
国語科「書くこと」が 目指す 令和3年11月時点の 3年生の学びをつくる姿	伝えたいことを明確にするとともに、目的に応じながら、題材を設定することができる。伝えたいことを具体的にし、題材を絞り込むことができる。	伝えたいことに応じて、情報を集めるとともに、伝えたいことに応じて、集めた情報の中から必要な情報を選択し、伝えたいことに応じた内容を検討することができる。また、伝えたいことや文章の様式に応じて、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えることができる。さらに、文章の特徴に応じながら、集めた情報を整理する方法を考えることができる。加えて、情報の整理を振り返って、再整理したり、再構成したりすることができる。	伝えたいことや文章の様式に応じて、表現を工夫した考えと理由、事例との関係を明確にして書き表したり、修正したりすることができる。また、読み手の考えに基づき、必要に応じながら書いた文章を修正することができる。 読み手の考えに基づき、必要に応じながら、修正点を次の文章に生かそうとすることができる。

本単元の  
目的

自己調整を通じた「伝わりやすさ」の更新

本単元における「一人一人の子供が他者とともに自己調整する学び」

子供が学びをつくる



### 自己調整

文章を構成したり書いたり、推敲したりする時に、包含関係や累加関係を考えると伝わりやすい文章が書けることに気づき、振り返る。

伝えること  
への思い

こんなに工夫をしていたなんて驚いた。誰かに伝えたいな。  
伝えるためには、うまく伝えないといけない。もうちょっと伝わりやすくないかな。

実現に向けて

「始め(かんたん)」-「中(くわしく)」-「終わり(かんたん)」が使えるぞうだ。「中」は「始め」とびつたりな内容になるように選ぶけど…びつたりになっていない？どれを選べばいいか友達に聞いてみよう。「中1」と「中2」は仲間になるように選ぶぞう。「中1」と「中2」が仲間になっていないから、もう一度選び直そう。  
「中」は「始め」の内容とびつたりになるように…ずれているかな？友達に聞いてみよう。「中1」と「中2」は仲間が並ぶように…ずれているから、もう一度書き直そう。

自分自身の  
気づき

やっぱり「始め(かんたん)」-「中(くわしく)」-「終わり(かんたん)」が使えた。  
「中」は「始め」とびつたりな内容になるように書けたし、「中1」と「中2」は仲間になるように書いたから、伝えたいことがはっきりしたと思う。伝えたいことをはっきり書くことって、大切だな。  
途中でもう一度やる気を出して頑張ったから上手く書けた。

**本単元の目標** 「始め」と「中」の包含関係と「中1」と「中2」の累加関係に気付き、表現の意図に応じて、内容を検討するとともに、文章を構成することができる。

**本単元の  
評価規準**

知識・技能【知技】	思考・判断・表現【思判表】	主体的に学習に取り組む態度【主】
主語と述語や修飾語と被修飾語の関係の明確さ、長音、拗音、促音、撥音、助詞などの表記や段落の役割について理解している。	「始め」と「中」の包含関係と「中1」と「中2」の累加関係に気付き、表現の意図に応じて、内容を検討するとともに、文章を構成することができる。	粘り強く段落相互の関係を考えて記述したり文章を整えたりするとともに、書いた文章を振り返って修正の見直しをもっている。
追究 パフ 主語と述語や修飾語と被修飾語の関係の明確さ、長音、拗音、促音、撥音、助詞などの表記について理解している。 段落の役割について理解している。	追究 パフ 「始め」と「中」の包含関係と「中1」と「中2」の累加関係に気付き、表現の意図に応じて、内容を検討している。 表現の意図に応じて、文章を構成することができる。	追究 パフ 粘り強く段落相互の関係を考えて記述したり文章を整えたりする。 書いた文章を振り返って修正の見直しをもっている。



単元の  
目的と支援

**自己調整を促すことを通じた「伝わりやすさ」の更新**

**課題**

思いや願いをもつために

**社会科との関連的な指導**

- スーパーマーケット見学で、話題に関する知識を十分に獲得させるために、動画での見学とビッグハウスの見学と2つの店の売り上げを上げるための工夫を比較させる場面を設定する。

**相手の設定**

- 店長への提出
  - ・ より伝わりやすい文章に修正する必要感をもたせるために、調査報告の相手を明確にする。また、礼状に対する返信が届く設定にする。

**追究**

学習方法や取組方を工夫するために

**文章の様式の特徴の明確化**

- 文章の様式の比較
  - ・ 子供が既習の構成(抽象-具体-抽象)が活用できることに気付くように、既習の観察記録文や説明書、レポート等と比較する場面を設定する。

**情報と情報との関係を捉える場面の設定**

- 調べたことを分類する場面の設定
  - ・ 子供が調べたことの共通と相違に気付き、表現の意図に応じて、「中」の内容を選択できるように、調べたことを分類する場面を設定する。

**段落相互の関係の端的に捉える場面の設定**

- 段落の包含関係と累加関係を捉える場面の設定
  - ・ 「始め」と「中」の包含関係を「「始め」と「中」はぴったり」、「中1」と「中2」の累加関係を「「中1」と「中2」は仲間を並べる」として、文章の構造を捉える場面を設定する。

自己調整を促しながら  
「伝わりやすさ」を更新させる支援

パフォーマンス  
学習方法や取組方を  
工夫するために

**視点の明示**

- 視点に基づいて文章を整える場面の設定
  - ・ 「はじめとぴったりな中」、「中1と中2はなかま」に基づいて書いたり確かめたりできるように、明示する。

自分自身に気付くために

思いや願い、視点、学習方法や取組方の振り返り

- 振り返る場面の設定
  - ・ できたか(分かったか)、頑張ったか、工夫したかの3つの視点で振り返る場面を設定する。
    - 「伝わりやすさ」を意識して文章を整えたか
    - やる気と粘り強さをもって取り組めたか
    - いろいろな方法で工夫しながら学習に取り組むことができたか

#### 4 単元計画

時	学習活動 (○) <b>〔自己調整〕</b>
1	<p>仕事のくふう, 見つけたよ</p> <p>○ 調査報告文を書くことを知り, 文章を書く計画を立てる。</p> <p>○ ノートに伝わりやすさチェックリストをつくる。</p>
	<p>取材がおもしろそうだな。でも, 文章が長くて大変そうだな。</p> <p>インタビューをするといいかもしれないな。</p> <p>習ったことが使えそうだな。</p> <p><b>伝わりやすさを意識して調査報告文を書こう</b></p>
2	<p>店ではたたく人と仕事(社会科)</p> <p>○ スーパーマーケットの売り上げを高める工夫を調べる計画を立てる。</p>
	<p>いろいろなお店に行ってみたいな。おもしろそうだな。</p> <p>やっぱりインタビューの必要があるな。</p> <p>この計画で大丈夫かどうか確かめよう。</p> <p>○ 教科書と動画での社会科見学で, スーパーマーケットの売り上げを高める工夫を調べる。</p>
3	<p>売れ残りを出さないように工夫しているんだな。</p> <p>本でも調べてもらえると思うな。</p> <p>わたしは, 商品の工夫しか知らなかったけど, 商品以外の工夫もあるんだな。</p> <p>○ 特に調べたい観点を決め, 「取材メモ」を作る。</p>
	<p>もっと値段の工夫を調べてみたいな。</p> <p>品揃えの工夫を調べるために, ドン・キホーテを見学してみたい。</p> <p>わたしは, ドン・キホーテのことならよく知っているよ。</p> <p>○ 本でスーパーマーケットの売り上げを高める工夫を調べ, 「取材メモ」に書き加える。</p>
4	<p>売り場や通路を広くしているんだね。</p> <p>インタビューだったらもっと詳しく分かるかもしれないな。</p> <p>だんだん品質の工夫が分かってきたな。</p> <p>○ 観察とインタビューでスーパーマーケットの売り上げを高める工夫を調べ, 「取材メモ」に書き加える。</p>
	<p>○ 店長から依頼を受けて, 調査報告の対象を店長に設定する。</p> <p>店長に知らせるから, しっかり伝わるように書かないと。</p> <p>店長さんにもインタビューしてみたいな。</p> <p>たくさん工夫を見つけたからもっと誰かに知らせたいな。</p> <p>○ 組み立ててメモをつくるために, 調べたことを分類し, 「中」に書く内容を選ぶ。</p>
5	<p>書けそうになってきたな。店長さんも待っているから頑張ろう。</p> <p>私が伝えたかったことが調べられていないな。友達に聞いてみよう。</p> <p>「始め」と「中」の関係が分かってきたぞ。</p>

**課題** 社会科と関連させて調査報告文を書くことを確認する。

**追究** 文章の特徴を確認するために, 既習の文章と比較する。  
**追究** 既習の伝わりやすさを確認する。

**課題** 話題に関する知識を十分に獲得させるために, 動画での社会科見学とともに, ビッグハウス見学を行う。売り上げを上げるための工夫に対する視点をもつ場面を設定する。

**追究** 値段・品揃え・品質・陳列・施設やサービスの観点を確認する。

**追究** 値段・品揃え・品質・陳列・施設やサービスの観点から自分が特に調べたい観点を選ぶことを確認する。

**追究** 値段・品揃え・品質・陳列・施設やサービスの観点を確認する。

**課題** より伝わりやすい文章に修正する必要感をもつために, 調査報告の相手を明確にする。

**追究** 既習の構成(かんたん-くわしく-かんたん)が活用できることに気付くように, 既習の観察記録文や説明書, レポート等との共通点を確認する。

**追究** 調べたことの共通と相違に気付き, 表現の意図に応じて, 「中」の内容を選択できるように, 調べたことを分類する場面を設定する。

社会科

社会科

時	学習活動 (○) 【自己調整】		
6 本 時	○ 「中」に書く内容を見直し、組み立てメモを修正する。	<p>「始め」とぴったりな「中」, 「中1」と「中2」はなかまになっているな。</p> <p>ぴったりになっているか友達に確かめてもらおう。</p> <p>わたしは伝えたいことがはっきりと伝わるように書けたよ。</p>	<p>追究 「始め」と「中」が包含関係に, 「中1」と「中2」が累加関係になるように構成するために, 包含関係や累加関係になっていないの文章の伝わらなさを確認する。</p> <p>追究 包含関係と累加関係の視点で修正できるように端的に明示する。</p>
	「始め」とぴったりな中, 「中1」と「中2」は仲間で書くと伝わりやすいだね。		
	文章を構成する時に, 包含関係や累加関係を考えると伝わりやすい文章が書けることに気づき, 振り返っている。		
7 8	○ 組み立てメモを基にして, 下書きをする。	<p>だんだん書けてきたぞ。もうひと踏ん張りだ。</p> <p>これで大丈夫かな。途中だけど一回先生に聞いてみよう。</p> <p>ずれてきたから, 組み立てメモを見直してみよう。</p>	<p>パフ モデル文を基にして段落の役割を確認する。また, 例を挙げたり考えたことと調べたことを区別したりすることを確認する。</p>
	文章を書く時に, 包含関係や累加関係を考えると伝わりやすい文章が書けることに気づき, 振り返っている。		
9	○ 「始め」と「中」の包含関係や「中1」と「中2」の累加関係を確かめながら文章を整える。	<p>「始め」とぴったりな「中」, 「中1」と「中2」はなかまになっているな。</p> <p>ぴったりになっているか友達にも確かめてもらおう。</p> <p>段落の関係を考えたから, 読みやすい文章が書けたな。</p>	<p>パフ これまでに学習したことを生かして修正しながら清書することを確認する。</p>
	文章を推敲する時に, 包含関係や累加関係を考えると伝わりやすい文章が書けることに気づき, 振り返っている。		
10 11	○ 整えた文章を基にして, 清書する。	<p>伝わりやすい文章を書くためには, 「始め」と「中」, 「中1」と「中2」の関係が大切なんだな。</p> <p>店長さんに手紙と一緒に送ってみたいな。</p> <p>難しい時もあったけど, やっぱりこの学習はおもしろかった</p>	<p>パフ 包含関係と累加関係の視点で文章を整えることができるように端的に明示する。</p>
	文章を推敲する時に, 包含関係や累加関係を考えると伝わりやすい文章が書けることに気づき, 振り返っている。		
12	○ 書いた文章を友達と読み合い, 学習活動を振り返る。	<p>段落の関係を何度も確かめて書くことができたな。</p> <p>困った時は, 友達に教えてもらって書くことができたな。次も頑張れ</p> <p>きっと次にも生かせる大切な学習だったかもしれない。</p>	<p>パフ これまでに学習したことを生かして修正しながら清書することを確認する。</p>
	文章を推敲する時に, 包含関係や累加関係を考えると伝わりやすい文章が書けることに気づき, 振り返っている。		

## 5 本時案 (6/12)

### 本時の目標

表現の意図(伝えたいこと)に応じて、「始め」と「中」の包含関係、「中1」と「中2」の累加関係に気付き、それらを生かして段落を構成することができる。

### 学習活動(○)と子供の姿

教師の支援(課題, 追究, パフ, メタ), 評価(◇) 評価方法(<>)

- 店長のからの手紙(礼状の返信)を聞き、伝わりやすい文章にしたいという思いを膨らませる。
- 表現の意図に応じて、「中」の内容を選択したことを振り返るとともに、「伝わりやすさチェックリスト」を基に組み立てメモを読み返す。

書けそうになってきたな。店長さんも待っているから頑張ろう。	友達に聞いて、伝えたいことが補充できたな。もう一度確かめたいな。	伝えたいことに合わせて、調べたことを選べたぞ。	「始め」のことを「中」で詳しく書くんだな。
-------------------------------	----------------------------------	-------------------------	-----------------------

- 課題 思いや願いをもつために、店長からの手紙(礼状の返信)を読む。
- 課題 思いや願いをもったり学習方法や取組方を修正したりするきっかけをつくるために、店長に伝わりやすい調査報告文が書けそうか、チェックリストにそって、4件法で挙手させ、修正の方向性を問う。  
0…まったく伝わりやすすくない  
1…伝わりやすすくない  
2…伝わりやすい  
3…すごく伝わりやすい

- 前時の振り返りを基にして、組み立てメモづくりに悩んでいる人がいることを知る。

課題 前時の振り返りを基にして、段落の視点が欠けていることを示す。

### 店長に もっとつたわりやすい文しようにするために、組み立てメモを修正しよう

- 伝わりにくい(包含関係ではない文章)組み立てメモAを読み、モデル文と比較し、「始め」と「中」の包含関係に気付く。

きっと大切なことを教わるんだろうな。	ちょっと、友達と相談したいな。	わたしのと似ているな…直す必要があるのかな。	あれ?「中」が揃っていない気がするな。
--------------------	-----------------	------------------------	---------------------

追究 包含関係ではない組み立てメモを提示し、段落に着目させ、伝わりにくい要素を確認する。  
「この組み立てメモ」の伝わりやすさは、何レベル?なぜ?」

メタ 自分の組み立てメモと比較する場面を設定する。「この組み立てメモと似ている人?」

- 包含関係を踏まえて、「中」を修正する。

もっと伝わりやすくなるように直せそうだ!	これでいいか、友達と確かめてみたいな。	わたしのと似ているな…直す必要があるのかな。	「始め」と「中」がぴったりになるようにするんだね。
----------------------	---------------------	------------------------	---------------------------

追究 伝わりやすさの視点を得るために、組み立てメモを評価する場面を設定する。

追究 包含関係を踏まえた「中」の修正ができるようにモデル文を修正する場面を設定する。  
「どのように直せば、もっと伝わりやすくなる?」

追究 包含関係を踏まえた「始め」の修正ができるようにモデル文を修正する場面を設定する。

- 伝わりにくい(包含関係ではない文章)組み立てメモBを読み、モデル文と比較し、「中1」と「中2」の累加関係に気付き、修正する。

きっとさっきより重要なことを教わるんだろうな。	ちょっと、友達の考えを聞いてみたいな。	わたしのとは違うけど…。直す必要があるのかな。	あれ?(3)は数字を大きく表示でいいのかな?
-------------------------	---------------------	-------------------------	------------------------

追究 「どのように直せば、もっと伝わりやすくなる?」

- 包含関係と累加関係を簡単な言葉で捉える。

早く組み立てメモを直したい。	もう一度、自分のものを確かめる必要があるな。	わたしのはぴったりになっているかも。	「始め」と「中」はぴったりになり、「中」は仲間だね。
----------------	------------------------	--------------------	----------------------------

メタ 包含関係と累加関係の視点を捉えられるように端的にまとめる場面を設定する。  
「この2つの組み立てメモから、どんな伝わりやすさがあるってことが分かった?」

### 「始め」と「中」はぴったりにする。「中1」と「中2」は仲間をならべる。

- 書いた組み立てメモを確かめ、「始め」と「中」の関係を修正する。

難しいけど頑張るぞ。これで文章にして書けそう!	心配だから友達や先生に確かめてもらおう。	ぴったりになるように修正できた。わたしは、最初からできていたから修正する必要がないわ。	伝わりやすさの一つに追加できるね。
-------------------------	----------------------	---	-------------------

追究 視点を基に修正できるように、理由を聞くように指示する。

「本当にぴったりになってる?って聞いてごらん」「本当に仲間になってる?って聞いてごらん」

追究 ぴったりになっていない場合は、取材メモを見て直してもよいことを指示する。

【自己調整】「始め」と「中」の包含関係、「中1」と「中2」の累加関係に気付き、組み立てメモを修正することができている。【思判表】<組み立てメモ>

- 「始め」と「中」、「中1」と「中2」の関係に気をつけながら、修正できたか振り返る。

追究 「伝わりやすさチェックリスト」に加えるように促す。  
メタ できたか(分かったか)、頑張ったか、工夫したかの3つの視点で振り返る場面を設定する。

- 「伝わりやすさ」を意識して文章を整えたか
- やる気と粘り強さをもって取り組めたか
- いろいろな方法で工夫しながら学習に取り組むことができたか

